

目 次

はしがき

序章 サプライズを求めて	1
--------------	---

第 I 部 言語運用と情報処理

第 1 章 ミスコミュニケーション	11
聞き違い /p, t, k/ の笑話	11
誤聴の方向	15
文字情報処理	19
音声情報処理の理論	21
第 2 章 視覚情報の力	25
マガーク前夜—視覚情報の促進力	25
マガーク効果—視覚情報の干渉力	28
音声情報処理のアラカルト	31
第 3 章 消える、揺れる、加わる音声	39
非文 *Practice makes perfect に驚く	39
消える条件はとらえにくい	43
伸び縮みする持続時間—英語の事例	44
揺れる音声—日本人の英語誤聴の教育背景	49
存在しない音声が聞こえる	56

第4章	バイリンガルという人々	61
	第2言語を学習すると頭がよくなる	61
	バイリンガルの弱み	64
	モノリンガル対バイリンガル	68
	不思議な話	70

第II部 学習過程

第5章	学習曲線には意味がある	75
	Ninio (2006) の言語学習曲線を批判する	76
	置き換え学習モデル	79
	蓄積学習モデル	84
	現実に照らし合わせてみる	86
	Ninio (2006) 再考	89
第6章	英単語の筆記学習曲線	95
	姉妹の学習曲線	95
	学習曲線を考える	97
第7章	著作学習曲線—アシモフ教授に驚く	103
	アシモフ教授は超人ではない	104
	一流研究者たちの出版曲線	107
	トップ5の心理言語学者	109
第8章	加齢と忘却・減衰曲線—老年心理言語学序説	113
	脳の委縮	114
	言語表出機能の衰退	116
	心的辞書の衰退	119
	老年の哀感と笑話とチャレンジ	121
	身の回りの老年心理言語学	124

第9章 言語能力の格差の根源	127
見えない格差 隠れる格差	127
社会階層の効果	131
Hart & Risley (1995) の背景	135
所作と言語能力と社会階層	137
読み書き能力の格差の発生	139
遅れて出現する劣読児	143
文豪の発生	146
第10章 感情と性格の学習	151
好き嫌いの学習	151
教育学習は万能	157
第 III 部 模倣とミーム	
第11章 本能としての模倣	163
動物の模倣	163
人の模倣	165
第12章 ことばの伝染	173
Dawkins のエピソードと言語学習	173
編集長の驚き	177
終章 サプライズがサプライズでなくなる時	181
最後のサプライズ.....	189

あとがき	193
引用文献	195
索引	211